ほんわ館だより

第106号

令和 3年 7月発行 中山町立図書館 ほんわ館 中山町大字長崎8038-9 TEL: 023-662-6688 開館時間 9:00~19:00 7月の休館日 5・12・19・26日 7月のおはなし会 7月17日(土) 11:00~11:30

O > 10 Or x Or, 10 O>

夏休み自由研究のすすめ

もうすぐ夏休みが始まります。夏休みと言えば沢山の宿題が付きもので、工作や読書感想文、自由研究 など、何をしようか親子で頭を悩ませているのではないでしょうか。

この中の「自由研究」は、1947年(昭和22年)に学習指導要領が制定された際には、教科として取り入れられ授業を行っていました。授業は「児童の個性の赴くところに従って、伸ばしていこうというもの」で、例えば、音楽の時間に器楽を学んだ児童が、楽器を鳴らして演奏できるようになりたいとの要求が出た場合、自由研究として楽器の演奏方法を学ばせるというものです。そのため、自由研究の時間は、工作や理科の実験、書道、絵画など多様な活動を想定していました。ただ、自由研究の内容や時間などは学校の裁量に委ねられたこともあってか、わずか4年でこの教科はなくなっています。

未だコロナ禍の中にあって、今年も自宅での学習が勧められています。こんな夏休みだからこと、理科や社会に限らず、子どもの興味のある分野を「夏休み自由研究」として家族みんなで探求してみてはどうでしょう。ほんわ館の小学生おすすめコーナーでも自由研究を特集しています。 是非、ご来館を!

予告



やっぱり夏はこれでしょう!!

7月31日(土) 『夕涼み浴衣で図書館~怪談ナイト~』を開催します



-4

ic

·K

**

差分式等等 医少少量

詳しい時間・内容につきましては館内ポスターやチラシ、HPをご覧ください お楽しみに!!



27.

愛読書リレー





『わすれられないおくりもの』

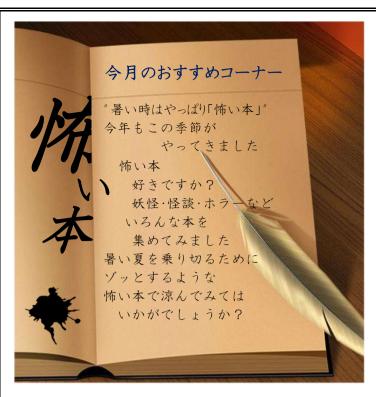
スーザン・バーレイ/さく え 小川 仁央/やく 評論社 【E/ハ】

| 賢くて、みんなに頼りにされているアナグマは、冬が来る前に「長いトンネルのむこうに行くよ さようなら」
| という手紙を残して死んでしまいます。悲しみにくれる森の動物たち。けれども、彼が宝物となるような
| 知恵や工夫をたくさん残してくれたことに、しだいに気づいていきます。そして、春が来る頃には、アナグマ
| のことは楽しい思い出へと変わっていったのです。

子どもが小さかった頃に読み聞かせで出会った絵本ですが、年齢を重ねた今でも、その時々の思いや経験の中で、私の心に静かに立ち上がってくるお話です。亡くなった父の果樹園を引き継いでからは、なおさら。果樹園のそこかしこに父の知恵や工夫を感じ、また、その時々に父の声が私たちを励ましてくれているように感じています。

自分はこれからどう生きるか・・・、優しい語りかけの美しい絵本だけれど、大人の私たちにも深く 問いかけてくる絵本です。

♪あいがとうございました!次のランナーは 沓沢 恒子さんです!♪





『日めくり怪談』

吉田 悠動/著 集英社 【913.6/**∃**】



『5分間で読める・話せる こわ~い話KING』

山口 理/著 いかだ社 【374.1/ヤ】



『1日3分読むだけで 一生語れるモンスター図鑑』

山北 篤/著 すばる舎 【388/ヤ】



『そこに無い家に呼ばれる』

三津田 信三/著 中央公論新社 [913.6/€]



ゾッとする怪談えほん 『空き家』

有田 奈央/文 森 洋子/絵 新日本出版社 【E/モ】(児童書)

他にもたくさん ご用意しています





沼津 りえ/著

『野菜まるごと冷凍レシピ』

主婦の友社【596.3/ヌ】

※なにしろ下処理手間いらず

それでもうまみ凝縮、鮮度もキープ

新しく入った本

『るるぶ宇宙』

林 公代/監修 JTBパブリッシング 【538.9/ル】

※関連スポットのご案内や未来の旅 行プランまで

野菜まるごと

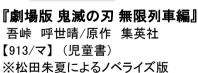
宇宙が身近に感じられる一冊

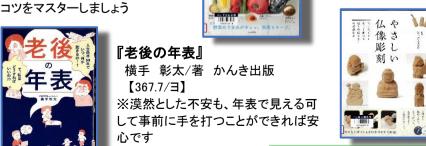


『わたしたちのカメムシずかん』

鈴木 海花/文 福音館書店 【486/ス】(児童書)

※皆が顔をしかめるカメムシが小さな 町で出会いと発見をもたらして・・・・ (全国課題図書)







『やさしい 仏像彫刻』

鈴木 謙太郎/監修 メイツユニバーサルコンテンツ 【718.3/ヤ】 ※掌に入るちいさな仏像や招き猫 彫ることで心が落ち着く

ここに掲載されている本は一部です

